

# ライブ 宇宙に遊ぶ 長谷川時夫の音世界

## ◆[長谷川時夫の音世界]

長谷川時夫のコスモロジーが漂う  
日本文化の色濃いところから世界に向けた、新しい音楽  
墨の闇夜に毎夜訪れる月に遊ぶ、心温まるやさしい音楽  
日本人の心の琴線に響くルバーブの音色

開催期日 5月23日(土) 午後7時30分～8時30分 (定員80名)  
会場 護念寺(新潟市西区新通1973)  
参加費 1,000円(ライブ終了後1品持ち寄りで交流会を開催します。)  
主催 長谷川時夫(ミティラー美術館 TEL:025-752-2396)  
共催 護念寺

## ◆ 演目(当日都合により変更することがあります。)

- ・源氏物語 ・波 ・石
- ・5番 ・ルバイヤート

## ◆ 出演

ルバーブ・歌 長谷川時夫  
ヴァイオリン 金子ユキ  
シンセサイザー 山田弘美  
石 シャンタラム・ゴルカナ  
他



### 「源氏物語」

源氏物語の「須磨」に長谷川流のメロディーをつけて歌います。哀愁をおびたルバーブの音色によって、源氏物語の世界に引き込まれます。

### 「ルバイヤート」

ルバイヤートは、11世紀ペルシャ(イラン)の詩人オマル・ハイヤームの四行詩集の題名。数学、天文学、史学など数々の分野における多くの偉業を遺した学者として著名。岩波文庫の日本語版訳者、村上出身の故小川亮作は「ペルシャのレオナルド・ダビンチ」と評しています。

## ◆[未来への指針を示唆する長谷川氏の音楽・・たばこと塩の博物館学芸部長 半田昌之]

世界を探してもどこにもないインドのフォークアートの発展する空間としてのミティラー美術館。その最大の展示物は「墨の闇夜に毎夜訪れる立体の月」としている。

このコスモロジーに満ちた美術館の創設は、館長長谷川時夫氏による。前衛音楽グループ、タージ・マハル旅行団のボーカリストとして活躍。ヨーロッパでの公演の後、月を求めて雪深い森に37年前に移住。開発計画の代替案として自然を残す形で美術館を開設。以来美術館活動で多忙な中、できなかった本来の音楽活動が、アナログからデジタルへと時代の技術革新によって、森の中でも音楽創作が可能となった。30年振りの音楽復活。その音楽は「色濃い日本文化から世界に発する音世界」というように、今まで聴いたことのない、それでいて何か日本的で心に染みこむ。また、歌の背景には、やさしい宇宙観が漂っている。まさしく、自然や環境、スローライフといった現代社会が希求する新しい世界の深い魂を感じさせる音楽だ。